Panasonic®

お知らせ

パーソナルコンピューター

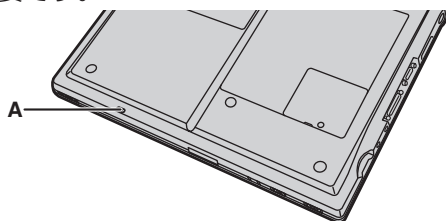
品番 CF-Y7DCAAJS/CF-Y7DWAAJS
品番 CF-Y7DCAAAS/CF-Y7DWAAAS

本機には、CD/DVD ドライブが内蔵されていません。本書では、CD/DVD ドライブ内蔵モデルと異なる内容について説明しています。
取扱説明書および本書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

も く じ

は画面で見るマニュアルのマークです。

お使いになる前に

- 付属の『取扱説明書 基本ガイド』および『操作マニュアル』などに記載されている CD/DVD ドライブをお使いいただくことはできません。また、CD/DVD ドライブに関連する項目も表示されません（例：PC-Diagnostic ユーティリティの [内蔵 CD/DVD ドライブ] は表示されません）。
  付属の『取扱説明書 基本ガイド』の表紙に記載の DVD-RAM ディスクのロゴマークおよび「安全上のご注意」に記載の「クラス 1 レーザー製品」も本機は対象外です。
- 付属の『取扱説明書 基本ガイド』の「キーボードに水をこぼしたとき」に記載の CD/DVD ドライブの内部に水が入っていないことを確認する手順は不要です。
- 本体底面の小さな穴（A）に矢印が付いていますが、これは CD/DVD ドライブ内蔵モデル用の穴で本機ではお使いいただけません。

- DVD-MovieAlbum や WinDVD、オプティカルディスクドライブ省電力ユーティリティなどの CD/DVD ドライブ用ソフトウェアはインストールされていません。本機の導入済みソフトウェアについては「仕様」をご覧ください（➡ 15 ページ）。

セットアップユーティリティについて

- 以下の項目は表示されません。
  ・「メイン」メニューの [DVD ドライブ電源]
  ・「詳細」メニューの [DVD ドライブ]
- 「起動」メニューでは、[Optical Drive] の代わりに [USB CDD] が表示されます。
  ・工場出荷時は、USB FDD→Hard Disk→USB CDD→PCI LANの順番に設定されています。
  ・本機は外付け CD/DVD ドライブからの起動をサポートしています。外付け CD/DVD ドライブから起動する場合は、「詳細」メニューの [レガシー USB] を [有効] に設定してください。起動できる別売りの CD/DVD ドライブについては、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』をご覧ください。
- Windows Vista がインストールされている場合は、「終了」メニューに [コンピュータの修復] が表示されます。
  [コンピュータの修復] を選択すると、システムの診断や回復を実行する「システム回復オプション」を起動することができます。「システム回復オプション」から再インストールを行うこともできます。
  お買い上げ後や再インストール後に初めて電源を入れたとき（Windows を一度も起動していないとき）およびハードディスクデータ消去ユーティリティを実行したときは表示されません。

再インストール手順およびデータの消去手順について

- 次のように現在インストールされている OS とこれからインストールする OS が異なる場合：
  ・現在の OS が Windows Vista で、Windows XP をインストールする
  ・現在の OS が Windows XP で、Windows Vista をインストールする
  Windows Vista プリインストールモデルは付属の『Windows® XP ダウングレードについて』をご覧ください。
  Windows Vista（Windows XP ダウングレードサービス済み）モデルは付属の『Windows Vista をお使いになる場合』をご覧ください。
- 現在インストールされている OS と同じ OS をインストールする場合は、本書に従って操作してください。
  ・現在の OS が Windows Vista で、Windows Vista をインストールする：➡ 3 ページ
  ・現在の OS が Windows XP で、Windows XP をインストールする：➡ 8 ページ
- 本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する方法は本書に従って操作してください（➡ 11 ページ）。

再インストールする（Windows Vista の場合）

Windows Vista がインストールされている状態で、Windows Vista を再インストールする場合の手順です。

再インストールとは

再インストールとはハードディスクをフォーマットして、Windows をインストールし直すことです。

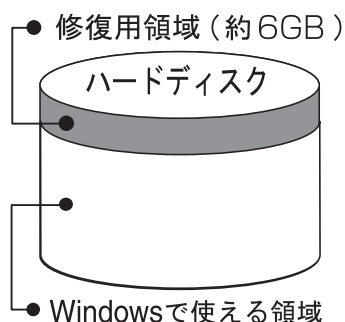
Windows が起動しなくなったり、Windows の動作が不安定になって修復できなくなったりした場合は、再インストールが必要です。

● パーティションを複数作成している場合

Windows 用とデータ用にパーティションを分けている場合は、データ用のパーティションをそのままにして Windows だけを再インストールすることができます。

重 要

ハードディスク内の修復用領域は絶対に削除しないでください。

本機のハードディスクには、システム回復オプションを収納した修復用領域があり、再インストールに必要なリカバリー用データも入っています。

- 修復用領域を通常のドライブとして使用することはできません。
- リカバリー用データは、他のメディアや外付けのハードディスクなどにバックアップを取ることはできません。

万一、修復用領域が壊れたり、ハードディスクからの再インストールができなくなった場合は、Windows Vista 用プロダクトリカバリー DVD-ROM を使用してください。
(➡ 7 ページ)

- ハードディスクリカバリーはダイナミックディスク（ディスク管理方式の一種）には対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

再インストールの流れ

ネットワークの設定、ユーザー名やパスワードをメモしておく。

▼

セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

▼

再インストールする（約 20 分）。

▼

Windows のセットアップを行う。

▼

セットアップユーティリティの設定を変更する（必要な場合のみ）。

▼

インターネットに接続できる場合は、Windows Update を行う。

➡ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「Windows を最新の状態にする」

再インストールの前に

周辺機器および SD メモリーカードなどは、すべて取り外してください。特に、USB フロッピーディスクドライブ、USB 接続のメモリーや外付け CD/DVD ドライブ（プロダクトリカバリー DVD-ROM 使用時は除く）、外付けのハードディスクを接続したままでは、再インストールが正常に行われない場合があります。

Windows Vista がインストールされている状態で内蔵セキュリティチップ（TPM）をお使いの場合は、再インストールの前に次の操作を行ってください。

①セットアップユーティリティを起動し、[セキュリティ] メニューに移動してスーパーバイザーパスワードを設定する。
②[内蔵セキュリティ（TPM）設定] を選び、Enterを押す。
③[所有者情報の初期化] を選び、Enterを押す。
④「セットアップ確認」画面で [実行] を選びEnterを押す。
⑤再度「セットアップ確認」画面が表示されるので、[実行] を選びEnterを押す。

再インストール後は、『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』の「TPM を交換した後、Windows の再インストールを行ったとき」の操作を行ってください。

再インストールする（Windows Vista の場合）

重 要

- インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客さまが作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクなどへ必ずバックアップを取っておいてください。
  再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作／誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。

再インストールする

重 要

再インストールの途中で電源を切るなどして、再インストールを中止しないでください。
Windows が起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

1 作成したデータなどのバックアップが取れる状態であれば、他のメディアや外付けハードディスクなどにバックアップを取る。

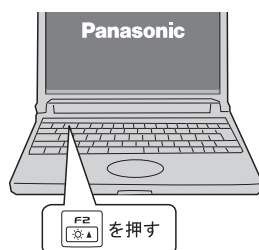
2 ネットワークの設定をメモしておく。

再インストールすると現在の設定は消去されますので、メモなどに控えておいてください。

3 ユーザー名やパスワードをメモしておく。

再インストールするとユーザーアカウントが削除され、Windows パスワードも削除されます。

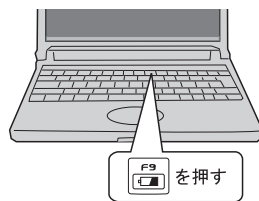
4 パソコンの電源を切り、AC アダプターを接続する。

5 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、あらかじめ変更した設定をメモしておくことをお勧めします。

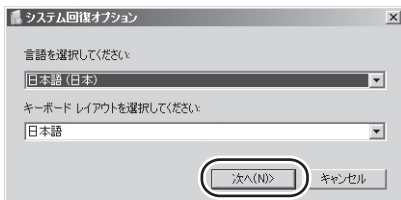
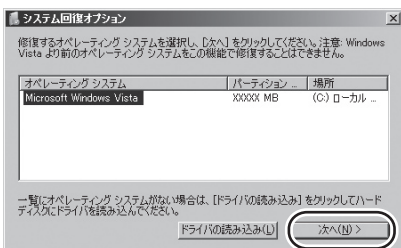
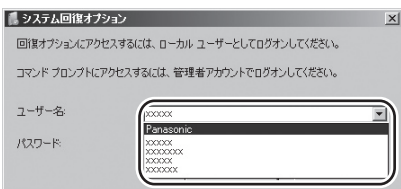
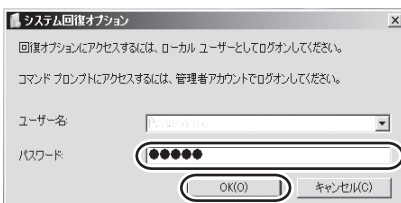
6 F9 を押す。

7 次の画面で [はい] を選び、Enter を押す。

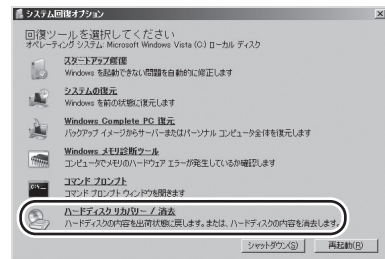
セットアップ確認
デフォルト値をロードしますか？
[はい]　　　[いいえ]

8 ←と→を使って「終了」メニューに移動する。

9 ↑と↓を使って [コンピュータの修復] を選び、Enterを押す。

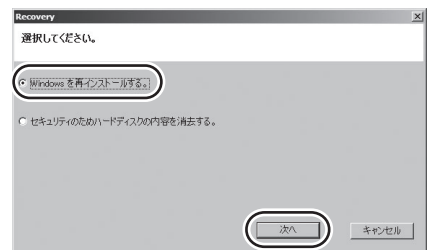
10 [次へ] をクリックする。

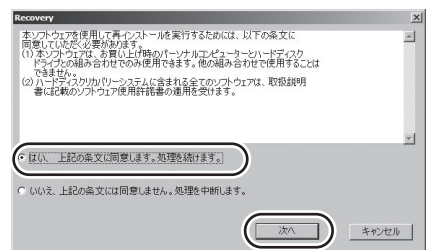
すでに選択されている言語とキーボードレイアウト以外は指定しないでください。

11 [次へ] をクリックする。

12 Windows で登録したユーザーアカウント名を選ぶ。

パスワードを入力し、[OK] をクリックする。

管理者アカウントのパスワードがわからない場合は、Windows Vista 用プロダクトリカバリー DVD-ROM から再インストールしてください。(➡ 7 ページ)

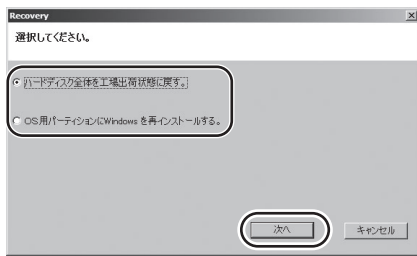
13 [ハードディスク リカバリー / 消去] をクリックする。

[ハードディスク リカバリー / 消去] が表示されない場合は、プロダクトリカバリー DVD-ROM を使って再インストールしてください(➡ 7 ページ)。

次の画面が表示されるまでお待ちください。

14 [Windows を再インストールする。] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。

[キャンセル] をクリックすると、操作を中止できます。

(プロダクトリカバリー DVD-ROM から再インストールした場合は画面が一部異なります。)

15 [はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。

再インストールする（Windows Vista の場合）

16 再インストールの方法を選ぶ。

（プロダクトリカバリー DVD-ROM から再インストールした場合は画面が一部異なります。）
再インストールには、次の 2 つの方法があります。

● **工場出荷時の設定にする場合**（リカバリー領域以外のパーティションは 1 つ）

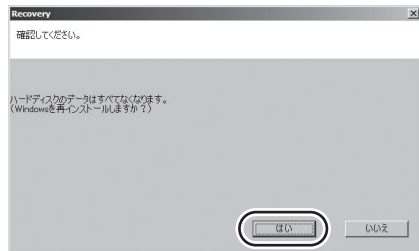
	Windows

[ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。

● **パーティション構成を変更せず、OS 用のパーティションに Windows を再インストールする場合**

	Windows （20GB 以上必要）		

[OS 用パーティションに Windows を再インストールする。] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。
この項目は、現在 Windows Vista をお使いの場合のみ選択可能です。

17 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。

（画面は [ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。] を選んだ場合の例です。プロダクトリカバリー DVD-ROM から再インストールした場合は画面が一部異なります。）

- 再インストールが始まります。
- 再インストールの途中で電源を切るなどして、再インストールを中止しないでください。また、「システム回復オプション」の画面（5 ページの手順 13 の画面）を操作しないでください。
  Windows が起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

18 終了のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックする。

パソコンの電源が切れます。

19 電源を入れ、Windows のセットアップを行う。

20 セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。

パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。

21 インターネットに接続できる場合は、（スタート）-[すべてのプログラム]-[Windows Update] をクリックし、Windows Update を行う。

メモ

次の手順で Windows Vista を再インストールすることもできます。

①「再インストールする（Windows Vista の場合）」（➡ 4 ページ）の手順 1 ～ 7 を行う。
②F10を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、Enterを押す。
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力して、Enterを押してください。
③「Panasonic」起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）にF8を押し続け、「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、指を離す。
「詳細ブートオプション」画面が表示されない場合は、修復用領域が破損している可能性があります。そのときは、プロダクトリカバリー DVD-ROM を使って再インストールしてください。
④「詳細ブートオプション」画面で、↑と↓を使って [コンピュータの修復] を選び、Enterを押す。
⑤[次へ] をクリックする。
すでに選択されているキーボードレイアウト以外は指定しないでください。
⑥5 ページの手順 12 以降の操作を行う。

プロダクトリカバリー DVD-ROM を使う

次の場合は、Windows Vista 用プロダクトリカバリー DVD-ROM を使って再インストールしてください。

- 管理者アカウントのパスワードがわからなくなった場合。
- 「再インストールする（Windows Vista の場合）」の操作が最後まで実行できない場合（修復用領域が破損している可能性があります）。

ハードディスクのデータの消去や、「システム回復オプション」の起動も行うことができます。

1 外付け CD/DVD ドライブ（別売り）を本機に接続する。

起動できる CD/DVD ドライブについては、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「別売り商品」をご覧ください。接続のしかたは、外付け CD/DVD ドライブの説明書をご覧ください。

2 「再インストールする（Windows Vista の場合）」（➡ 4 ページ）の手順 1 ～ 7 を行う。

3 ←と→を使って「起動」メニューに移動し、↑と↓を使って [USB CDD] を選ぶ。

4 F6を押して [USB CDD] が 1 番目になるように設定する。

5 Windows Vista 用プロダクトリカバリー DVD-ROM を CD/DVD ドライブにセットする。

6 F10を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、Enterを押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、パスワードを入力して、Enterを押してください。

以降は画面の指示に従って、再インストールや、ハードディスクのデータの消去などを行ってください。

再インストールする（Windows XP の場合）

Windows XP がインストールされている状態で、Windows XP を再インストールする場合の手順です。

再インストールとは

再インストールとはハードディスクをフォーマットして、Windows をインストールし直すことです。

Windows が起動しなくなったり、Windows の動作が不安定になって修復できなくなったりした場合や、ハードディスクを 2 つのパーティションに分割して使用する場合は、再インストールが必要です。

次の流れで再インストールしてください。

ネットワークの設定、ユーザー名やパスワードをメモしておく。

▼

セットアップユーティリティの設定を変更する。

▼

プロダクトリカバリー DVD-ROM を使って再インストールする（約 50 分）。
（ここでパーティションの変更を設定します。）

▼

セットアップユーティリティの設定を工場出荷時の設定に戻す。

▼

Windows のセットアップとユーザーアカウントの作成を行う。

▼

セットアップユーティリティの設定を変更する（必要な場合のみ）。

▼

インターネットに接続できる場合は、Windows Update を行う。

➡ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「Windows を最新の状態にする」

パーティションの変更

パーティションとは、ハードディスク上に作成した領域（区画）のことです。
1 つのハードディスクに複数のパーティションを作成することができます。複数のパーティションを作成した場合には、1 つのディスクを複数のディスクのように扱うことができます。

- パーティションを 2 つに分割する場合は、再インストールが必要です。
- OS 用として最低限必要なパーティションのサイズは、再インストール時に画面上でご確認ください。
- 3 つのパーティションを作成したい場合は、再インストール後、Windows の「ディスクの管理」を使って 2 つ目のパーティションを削除してから、空いた領域にパーティションを作成してください。

再インストールの前に

次のものを準備してください。

- **Windows XP 用プロダクトリカバリー DVD-ROM**
- **外付け CD/DVD ドライブ（別売り）**
  使用できる CD/DVD ドライブについては、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「別売り商品」をご覧ください。

周辺機器（外付けの CD/DVD ドライブは除く）および SD メモリーカードなどは、すべて取り外してください。特に、USB フロッピーディスクドライブ、USB 接続のメモリーや外付けのハードディスクを接続したままでは、再インストールが正常に行われない場合があります。

重 要

- **インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客さまが作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクなどへ必ずバックアップを取っておいてください。**
  再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- **データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作 / 誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。**

再インストールする

再インストールの途中で電源を切ったり Ctrl + Alt + Del を押したりするなどして、再インストールを中止しないでください。

Windows が起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

1 作成したデータなどのバックアップが取れる状態であれば、他のメディアや外付けハードディスクなどにバックアップを取る。

2 ネットワークの設定をメモしておく。

再インストールすると現在の設定は消去されますので、メモなどに控えておいてください。

3 ユーザー名やパスワードをメモしておく。

再インストールするとユーザーアカウントが削除され、Windows パスワードも削除されます。

4 パソコンの電源を切り、AC アダプターを接続する。

5 外付け CD/DVD ドライブ（別売り）を本機に接続する。

使用できる CD/DVD ドライブについては、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「別売り商品」をご覧ください。接続のしかたは、外付け CD/DVD ドライブの説明書をご覧ください。

6 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

パスワードを入力してください [ ]

- ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。また、各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す F9 は使えません。
- お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、あらかじめ変更した設定をメモしておくことをお勧めします。

7 F9 を押す。

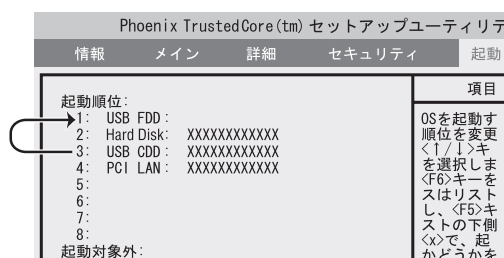
次の画面で [はい] を選び、Enter を押してください。

セットアップ確認

デフォルト値をロードしますか？

[はい]　　[いいえ]

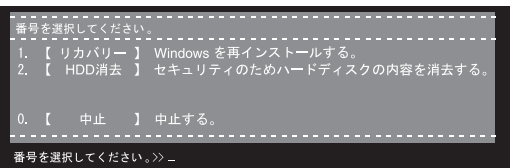
8 ← と → を使って「起動」メニューに移動し、↑ と ↓ を使って [USB CDD] を選ぶ。

9 F6 を押して [USB CDD] が 1 番目になるように設定する。

10 Windows XP 用プロダクトリカバリー DVD-ROM を CD/DVD ドライブにセットする。

11 F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、Enter を押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、パスワードを入力して、Enter を押してください。

12 1 を押して [1.【リカバリー】] を実行する。

（以降の画面はすべて一例です。）

再インストールを実行するための条件が表示されます。

13 同意する場合は[1]を押し、同意しない場合は[2]を押す。

- [1]を押すとメニューが表示されます。
- [2]を押すと再インストールを中止します。

再インストールを実行するためには以下の条文に同意していただく必要があります。
(1) 再インストールプログラムは、本プロダクトリカバリーDVD-ROM 提供時に指定のパナソニックコンピューターに導入されているソフトウェアの復元または再インストールを行う目的にのみ使用することができます。
(2) プロダクトリカバリーDVD-ROM中の全てのソフトウェアは、取扱説明書に記載のソフトウェア使用許諾書の適用を受けます。

1．はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。
2．いいえ、上記の条文には同意しません。処理を中断します。

番号を選択してください。>> _

14 再インストールの方法を選ぶ。

再インストールには、次の 3 つの方法があります。

● **工場出荷時の設定（パーティションは 1 つ）にする場合**

Windows

[1]を押す。

● **パーティションを 2 つに分割する（OS 用とデータ用）場合**

Windows	データ用

[2]を押して OS（Windows）用パーティションのサイズ（GB 単位）を数字で入力し、[Enter]を押す。

- 0（ゼロ）を入力すると、操作を中止することができます。
- 利用できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。（データ用は 1GB 以上）
- 機種により、設定できる最大のサイズは異なります。

● **パーティション構成を変更せず、最初のパーティションに Windows を再インストールする場合**

Windows (20GB 以上必要)		

[3]を押す。

この項目は、現在 Windows XP をお使いの場合のみ選択可能です。

15 確認のメッセージが表示されたら、[Y]を押す。

- 再インストールが始まります。
- 再インストールの途中で電源を切ったり、[Ctrl] + [Alt] + [Del]を押したりするなどして、再インストールを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

再インストールOS : Windows (R) XP Professional

ハードディスクのデータはすべてなくなります。
ハードディスクのデータをすべて消去し、Windows を再インストールしますか？

[Y, N]?_

16 次のメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリー DVD-ROM を取り出し、外付けの CD/DVD ドライブを取り外して何かキーを押す。

パソコンの電源が切れます。

17 手順 6 と 7（➡ 9 ページ）を行い、セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

18 [F10]を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、[Enter]を押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

19 Windows のセットアップを行い、ユーザーアカウントを作成する。

20 セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。

パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。

21 インターネットに接続できる場合は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Windows Update] をクリックし、Windows Update を行う。

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティを利用すれば、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去できます。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

> ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客さまの損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

Windows XP がインストールされている場合は、次のものを準備してください。
Windows XP のデータの消去方法は、13 ページをご覧ください。

- **Windows XP 用プロダクトリカバリー DVD-ROM**
- **外付け CD/DVD ドライブ（別売り）**
  使用できる CD/DVD ドライブについては、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「別売り商品」をご覧ください。

次の点を確認してください。

- 必ず、AC アダプターを接続してください。
- データ消去には、30 分～ 6 時間かかります（ハードディスクの容量によって消去時間は異なります）。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行するとハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。
- Windows Vista の場合、実行すると、セットアップユーティリティの「終了」メニューから [コンピュータの修復] が削除されます。ただし、修復用領域（➡ 3 ページ）は消去されません。

データをすべて消去する（Windows Vista の場合）

1 AC アダプターを接続する。

2 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

  パスワードを入力してください [ ]

- ユーザーパスワードでは、各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す F9 は使えません。

3 F9 を押す。

4 次の画面で [はい] を選び、Enter を押す。

セットアップ確認
デフォルト値をロードしますか？
[はい]　[いいえ]

5 ← と → を使って「終了」メニューに移動する。

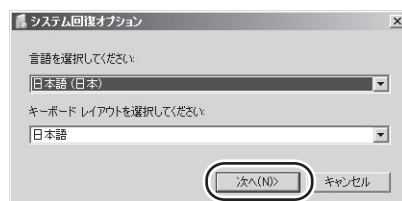
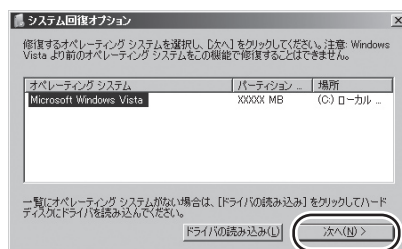
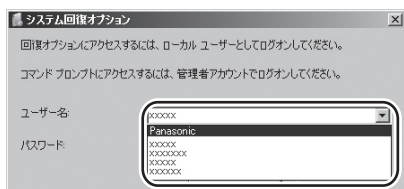
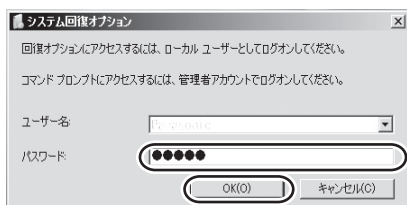
6 ↑ と ↓ を使って [コンピュータの修復] を選び Enter を押す。

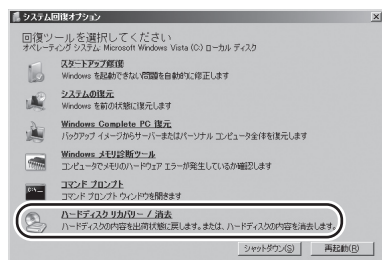
7 [次へ] をクリックする。
すでに選択されている言語とキーボードレイアウト以外は指定しないでください。

8 [次へ] をクリックする。

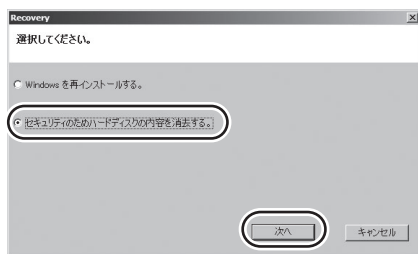
システム回復オプション
修復するオペレーティング システムを選択し、[次へ] をクリックしてください。注意: Windows Vista より前のオペレーティング システムをこの機能で修復することはできません。

オペレーティング システム	パーティション ...	場所
Microsoft Windows Vista	XXXXX MB	(C:) ローカル ...

一覧にオペレーティング システムがない場合は、[ドライバの読み込み] をクリックしてハードディスクにドライバを読み込んでください。
ドライバの読み込み(L)　次へ(N) >

9 **Windows で登録したユーザーアカウント名を選ぶ。**

パスワードを入力し、[OK] をクリックする。

10 **[ハードディスク リカバリー / 消去] をクリックする。**

[ハードディスク リカバリー / 消去] が表示されない場合は、プロダクトリカバリー DVD-ROM を使ってハードディスクのデータを消去してください(➡ 7 ページ)。

次の画面が表示されるまでお待ちください。

11 **[セキュリティのためハードディスクの内容を消去する] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。**

[キャンセル] をクリックすると、操作を中止できます。

12 **確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。**

13 **[実行する] をクリックする。**

14 **再度、[実行する] をクリックする。**

15 **[はい] をクリックする。**

ハードディスクのデータ消去が開始されます。

16 **終了のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックする。**

- パソコンの電源が切れます。
- 何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

メ モ

次の手順でデータを消去することもできます(Windows Vista の場合)。

①「データをすべて消去する(Windows Vista の場合)」(➡ 11 ページ)の手順 1 ～ 4 を行う。
② F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、Enter を押す。
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
③「Panasonic」起動画面が消えたとき(スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後)に F8 を押し続け、「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、指を離す。
「詳細ブートオプション」画面が表示されない場合は、修復用領域が破損している可能性があります。そのときは、プロダクトリカバリー DVD-ROM を使ってください。(➡ 7 ページ)
④「詳細ブート オプション」画面で、↑ と ↓ を使って [コンピュータの修復] を選び Enter を押す。
⑤ [次へ] をクリックする。
すでに選択されているキーボードレイアウト以外は指定しないでください。
⑥「データをすべて消去する(Windows Vista の場合)」の手順 9 以降の操作を行う。

データをすべて消去する（Windows XP の場合）

1 AC アダプターを接続する。

2 外付け CD/DVD ドライブ（別売り）を本機に接続する。

使用できる CD/DVD ドライブについては、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「別売り商品」をご覧ください。接続のしかたは、外付け CD/DVD ドライブの説明書をご覧ください。

3 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

パスワードを入力してください [ ]

- ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。また、各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す F9 は使えません。

4 F9 を押す。

次の画面で [はい] を選び、Enter を押してください。

セットアップ確認

デフォルト値をロードしますか？

[はい]　[いいえ]

5 ← と → を使って「起動」メニューに移動し、↑ と ↓ を使って [USB CDD] を選ぶ。

6 F6 を押して [USB CDD] が 1 番目になるように設定する。

7 Windows XP 用プロダクトリカバリー DVD-ROM を CD/DVD ドライブにセットする。

8 F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、Enter を押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、パスワードを入力して、Enter を押してください。

9 「番号を選択してください」というメッセージが表示されたら、2 を押して [2.【HDD 消去】] を実行する。

0（ゼロ）を押すと、操作を中止することができます。

10 確認のメッセージが表示されたら、Y を押す。

ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。

（以降の画面はすべて一例です。）

11 「<<< スタートメニュー >>>」で Enter を押す。

ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version *.****
(C) **** 松下電器産業株式会社

<<<スタートメニュー>>>
ハードディスクデータ消去ユーティリティはハードディスク上のデータを
全て上書きすることにより消去します。
必要なデータはバックアップを作成してください。
メッセージに従って操作キーを選択してください。
（次へ：Enterキー，中止：その他のキー）... _

12 消去にかかるおおよその時間など、メッセージの内容を確認してから［　　　］（スペースキー）を押す。

```
  ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version *.****
                                    (C) **** 松下電器産業株式会社
----------------------------------------------------------------
<<<ドライブリスト>>>
O : ドライブ:セクター総数      : ******** ( ******** )
             ディスク容量      : *****MB.

(お知らせ)
   ハードディスクデータ消去ユーティリティがすべてのデータを消去するために
   およそ**分から **分かかります。
   コンピューターがAC電源で動作していることを確認してください。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか?
    (はい : スペースキー, いいえ : その他のキー)... _
```

13 メッセージの内容を確認してから［Enter］を押す。

```
  ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version *.****
                                    (C) **** 松下電器産業株式会社
----------------------------------------------------------------
<<<ドライブリスト>>>
O : ドライブ:セクター総数      : ******** ( ******** )
             ディスク容量      : *****MB.

(お知らせ)
   ハードディスクデータ消去ユーティリティがすべてのデータを消去するために
   およそ**分から **分かかります。
   コンピューターがAC電源で動作していることを確認してください。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか?
    (はい : スペースキー, いいえ : その他のキー)...[はい]

(お知らせ)
   ハードディスクデータ消去ユ-ティリティを実行するとデータは元に戻り
   ません。Enterキーを押すとデータ消去を開始します。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか?
    (実行 : Enterキー, 中止 : その他のキー) ... _
```

- ハードディスクのデータ消去が開始されます。
- 万一、途中でデータ消去を中断する場合は、［Ctrl］＋［C］を押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。

14 「ハードディスクのデータは消去されました」というメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリーDVD-ROMを取り出し、外付けのCD/DVDドライブを取り外して何かキーを押す。

- パソコンの電源が切れます。
- 何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

仕様 日本国内専用

● 本体仕様

機種名	CF-Y7DCAAJS	CF-Y7DWAAJS	CF-Y7DCAAAS	CF-Y7DWAAAS
CPU/ 2次キャッシュメモリー	インテル® Core™2 Duo プロセッサー超低電圧★版U7600、オンダイL2 キャッシュ-2 MB[*1]、動作周波数1.20 GHz、フロントサイド・バス533 MHz			
ハードディスクドライブ[*2]	120 GB（Serial ATA）			
	上記容量のうち約6 GBは修復用領域（リカバリー用データ領域を含む）として使用（ユーザー使用不可） （Windows XPの場合：修復用領域はありません）			
CD/DVDドライブ	内蔵されていません			
表示方式	14.1型　TFTカラー液晶XGA（1024×768ドット）			
内部LCD表示	1024×768ドット：約1677万色[*3]			
外部ディスプレイ表示[*4]	800×600ドット、1024×768ドット、1280×768ドット、1280×1024ドット、1400×1050ドット、1440×900ドット、1600×1200ドット：約1677万色			
本体＋外部ディスプレイ同時表示[*4]	800×600ドット、1024×768ドット：約1677万色[*3]			
無線LAN	内蔵されていません	CF-Y7DWJAJRと同じ （➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）	内蔵されていません	CF-Y7DWMAAPと同じ （➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）
バッテリー駆動時間[*5]	約9時間（エコノミーモード（ECO）無効時）			
消費電力/ エネルギー消費効率[*6]	最大約60 W[*7]/2007年度基準　I区分0.00036 （社）電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：36 W			
質量[*8]	約1.54 kg			
導入済みソフトウェア[*9] （Windows XPの場合：➡16ページ）	ネットセレクター 2/ホイールパッドユーティリティ /省電力設定ユーティリティ /LAN省電力ユーティリティ /ファン制御ユーティリティ /無線切り替えユーティリティ [*10]/Hotkey設定/エコノミーモード（ECO）切り替えユーティリティ /バッテリー残量表示補正ユーティリティ /DMIビューアー /PC情報ビューアー /PC情報ポップアップ/Infineon TPM Professional Package V3.0 SP2HF2[*11]/Adobe Reader			
	セットアップユーティリティ /ハードディスクデータ消去ユーティリティ [*12]/PC-Diagnosticユーティリティ [*13]			
	下記のソフトウェアをお使いになる場合は、セットアップが必要です。次の手順を行った後、画面の指示に従ってください。 • ズームビューアー：「C:¥util¥loupe」フォルダー内の [setup] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。 • NumLock お知らせ：「C:¥util¥numlkntf」フォルダー内の [setup] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。テンキーモードに設定されていても、Panasonic Notification がインストールされていない場合またはこのソフトウェアをセットアップしていない場合は「NumLock お知らせ」画面は表示されません。 • セキュリティ設定ユーティリティ：「C:¥util¥secutil」フォルダー内の [setup] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。 • Fn Ctrl 機能入れ換えユーティリティ：「C:¥util¥setfnctrl」フォルダー内の [setup] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。 • Wireless Manager mobile edition 4.5[*14]：デスクトップの「Wireless Manager mobile edition のセットアップ」アイコンをダブルクリックします。 • USB キーボードヘルパー：「C:¥util¥ukbhelp」フォルダー内の [setup] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。 • USB マウスヘルパー：「C:¥util¥umouhelp」フォルダー内の [setup] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。			
上記以外	CF-Y7DWJAJRと同じ （➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）		CF-Y7DWMAAPと同じ （➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）	

仕様

● Windows XP の場合の導入済みソフトウェア [*9]

ネットセレクター /SDユーティリティ [*15]/ホイールパッドユーティリティ /省電力設定ユーティリティ /LAN省電力ユーティリティ /ファン制御ユーティリティ /フォントサイズ拡大ユーティリティ /無線切り替えユーティリティ [*10]/Hotkey設定/エコノミーモード(ECO)切り替えユーティリティ /バッテリー残量表示補正ユーティリティ /DMIビューアー /PC情報ビューアー /PC情報ポップアップ/Infineon TPM Professional Package V2.5 SP1[*11]/Adobe Reader

セットアップユーティリティ /ハードディスクデータ消去ユーティリティ [*12]/ハードディスクバックアップユーティリティ [*16]/PC-Diagnosticユーティリティ [*13]

下記のソフトウェアをお使いになる場合は、セットアップが必要です。下記フォルダー内のsetup.exeまたは下記アイコンをダブルクリックして画面に従ってください。

- ズームビューアー：C:¥util¥loupeフォルダー
- NumLockお知らせ：C:¥util¥numlkntfフォルダー
  テンキーモードに設定されていても、このソフトウェアをセットアップしていなければ「NumLockお知らせ」画面は表示されません。
- セキュリティ設定ユーティリティ：C:¥util¥secutilフォルダー
- 無線接続無効ユーティリティ [*17]：C:¥util¥wdisableフォルダー
- Fn Ctrl機能入れ換えユーティリティ：C:¥util¥setfnctrlフォルダー
- Wireless Manager mobile edition 4.5 [*14]：デスクトップの「Wireless Manager mobile editionのセットアップ」アイコン
- USBキーボードヘルパー：C:¥util¥ukbhelpフォルダー
- USBマウスヘルパー：C:¥util¥umouhelpフォルダー

★ 既存のインテル低電圧版に比べて、さらに電圧レベルを低下。
*1 1 MB=1,048,576バイト。1 GB=1,073,741,824バイト。
*2 1 GB=1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGB表示される場合があります。ハードディスクのユーティリティなど使用時はNTFS対応のものをご使用ください。
*3 グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。
*4 接続する外部ディスプレイによっては表示できない場合があります。解像度、リフレッシュレートについては、パナソニックパソコンのサポートページ（http://askpc.panasonic.co.jp/index.html）の「よくある質問(FAQ)」をご覧ください。
*5 「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境・液晶の輝度・システム設定により変動します。
エコノミーモード（ECO）有効に設定しているときの駆動時間は、無効時の約8割になります。
*6 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
*7 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約0.7 W。
*8 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
*9 次のOSのみサポートします。
- お買い上げ時にインストールされているOS
- 本機に付属のプロダクトリカバリー DVD-ROMを使ってインストールしたOS
- ハードディスクリカバリー機能を使ってインストールしたOS

*10 無線LAN内蔵モデルのみ。
*11 お使いになるにはセットアップが必要です（➡ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「データを暗号化する」）。
*12 修復用領域（WinRE）上で実行するユーティリティ（実行できない場合またはWindows XPの場合は、プロダクトリカバリー DVD-ROMから実行してください）。
*13 起動方法は『取扱説明書 基本ガイド』の「ハードウェアを診断する」をご覧ください。この機能には（株）ウルトラエックスの技術を使用しています。
*14 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト（パナソニック液晶プロジェクター TH-LB20NT/TH-LB30NT/TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NT/PT-FW100NT/PT-F100NT/PT-F200NT/PT-LB51NTとワイヤレス接続するときに使います）。詳しくは、『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「プロジェクターを使う」をご覧ください。
無線LAN内蔵モデルは、内蔵の無線LANで接続できます。非内蔵モデルは、別売りの無線LANカード（お使いのプロジェクターの推奨品）が必要です。
*15 SDHCメモリーカードには対応していません。
*16 Windows XP用プロダクトリカバリー DVD-ROMが必要です。
*17 無線LAN内蔵モデルのみ使用できます。

SS0508-0
DFQX1832ZA
Printed in Japan